



オペラ『メデア』

ギリシア悲劇にもとづく伝説のオペラ。堂々の日本初演！

ギリシア悲劇の傑作を原作としたオペラ『メデア』はケルビーニの代表作です。ロッシーニの登場以降埋もれていましたが、1952年にマリア・カラスがタイトルロールを演じたことで、オペラ史に再び咲きました。人物の情念が緻密に描かれ、演劇と音楽が見事に融合したその作品構成は、ブラームスから「劇的音楽の頂点」と絶賛されています。ケルビーニ作品の日本における上演歴はほぼ皆無で、『メデア』の上演は、これが日本初演となります。

指揮は、オペラ・シンフォニーの両分野で国際的な活動を展開する園田隆一郎、演出は、演劇界の巨匠、栗山民也がとめます。多種多様な解釈可能性に堪えうる古典中の古典を題材にした本作を、二人のマエストロがどう取り組むのか、ご期待ください。



指揮 園田隆一郎



演出 栗山民也

【あらすじ】

舞台は古代コリントス。国王・クレオンテは、数々の冒険に出かけて偉業を打ち立てたジャゾーネに、娘のグラウチェを嫁がせることにした。しかし、ジャゾーネの前妻・メデアの存在がグラウチェの心に暗い影を落とす。ジャゾーネがクレオンテに謁見した際、メデアが現れ、かつてジャゾーネと交わした愛と、奪われた二人の子どものことを訴えるが、ジャゾーネは拒絶する。メデアは悲嘆と怒りのあまり、ジャゾーネへの復讐を誓う。

【公演概要】

岡山芸術創造劇場ハレノワこけら落とし公演／日生劇場開場60周年記念 NISSAY OPERA 2023 『メデア』

(全3幕、イタリア語上演、日本語字幕付、日本初演、新制作)

作曲：ルイージ・ケルビーニ／台本：フランソワ=ブノワ・オフマン／イタリア語訳詞：カルロ・ザンガリーニ

指揮：園田隆一郎／演出：栗山民也

管弦楽：岡山フィルハーモニック管弦楽団

出演者：調整中

美術：二村周作／照明：勝柴次朗／衣裳：前田文子

公演日程：2023年9月1日(金)

上演時間：約2時間半(休憩を含む)